

教育指導課

今年の新1年生は
小学校、中学校ともに293人
市内の各小・中学校で入学式

市内の小・中学校入学式が、4月7日に25校で、4月8日に1校で行われました。
8人が入学した永末小学校では、西口明夫校長が「学校は楽しく勉強するところです。あいさつや返事が大きな声でできる永末小学校の子どもになってください。元気な1年生になってください。お兄さんお姉さんに教えて、早く学校に慣れましょう」と期待を込めて、新1年生にお祝いの言葉を贈りました。
また、在校生42人を代表して、6年



入学式の様子 (永末小学校)

平成26年度児童生徒数一覧表

平成26年4月1日現在 (単位:人)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
庄原小学校	53	50	65	63	61	56	348
永末小学校	8	6	6	8	8	14	50
高小学校	8	10	7	7	8	9	49
峰田小学校	7	8	11	7	5	5	43
板橋小学校	35	33	27	26	26	17	164
東小学校	29	20	26	18	24	25	142
山内小学校	9	10	9	7	16	8	59
川北小学校	4	6	2	3	1	1	17
西城小学校	13	21	24	15	23	23	119
美古登小学校	20	6	16	10	5	14	71
小奴可小学校	8	10	6	3	3	13	43
八幡小学校	5	3	7	2	7	5	29
栗田小学校	2	7	1	5	4	2	21
東城小学校	48	35	41	46	46	47	263
口南小学校	12	10	6	9	6	15	58
口北小学校	5	6	4	5	9	6	35
高野小学校	13	14	20	15	14	12	88
比和小小学校	3	9	10	7	13	7	49
総領小学校	11	8	10	11	14	18	72
小計	293	272	298	267	293	297	1,720
庄原中学校	157	126	158				441
西城中学校	14	28	25				67
東城中学校	64	74	60				198
口和中学校	15	19	17				51
高野中学校	21	13	17				51
比和中学校	7	10	17				34
総領中学校	15	18	10				43
小計	293	288	304				885
総合計							2,605

生の松浦正樹くんが「永末小学校ではハッピー菜園という畑で、みんなでジャガイモやサツマイモを育てたり、料理をしたりします。自分たちで育てた野菜はおいしいです。みんな仲良く頑張りましょう」と言葉を述べ、その後、全員で歓迎の歌「さんぽ」を歌い、入学を歓迎しました。
本年度、本市の小学校19校に入学した新1年生は293人、中学校7校も293人でした。

比和支所

地学分館の資料にスポットライト
ドイツの博士がクジラ研究のため来館

ドイツの自然史ベルリン博物館のオリバー・ハンブ博士が3月24日・25日、研究資料収集のため比和自然科学博物館を訪れました。
同博士はヒゲクジラの進化を研究するプロジェクトを進めており、約60種といわれるクジラの化石資料を集めるため、世界各国を巡っています。比和自然科学博物館にはクジラの耳骨(じこつ)を求めて訪れました。



研究に訪れたオリバー・ハンブ博士 (左端)

同博士は「耳骨は、ヒゲクジラの聴覚の進化過程を研究するのにとても貴重な資料になる。世界でも未研究の分野だが、海の生物の生態を知る海洋研究にもつながる大きな研究材料でもある。比和自然科学博物館はこうした世界的にも貴重な資料の宝庫で、数多く、保存状態もとてもいい。この資料が重要な役割を果たすだろう」と期待を寄せていました。
なお、地学分館の来館者が、オリバー・ハンブ博士で4千人目となりました。

商工観光課

人々が魅せられる「観光地・庄原」へ
庄原市観光ポスター作成

市商工観光課は、庄原市の魅力を広くPRするための新しい観光ポスター(3種類)を作成しました。
このポスターは、「観る、魅せる。Show原」―「ショウバラ」をコンセプトに、観光客の興味や認知度の高い「国営備北丘陵公園」、「帝釈峽・雄橋」、「ほたる見公園」の1枚写真を使用。庄原市が豊かなShow原(ショー)の顔を持ち、誰と行っても、それぞれの楽しみ方がある「観光地」として



帝釈峽・雄橋(東城) ほたる見公園(口和) 国営備北丘陵公園(庄原)

ての魅力を写真とキャッチコピーで伝えていきます。
庄原市のイメージを強く印象づけるために、多くの観光客を誘うため、市内外の観光施設などへ広く配布します。本ポスターの掲示にご協力いただけると、商工観光課(☎0824・73・1179)までお問い合わせください。

商工観光課

国定公園の魅力ある自然風景を切手に
「比婆道後帝釈国定公園50周年記念」
フレーム切手発売

比婆道後帝釈国定公園の指定50周年を記念したフレーム切手の販売が、4月16日から始まりました。
これは昨年度、比婆道後帝釈国定公園指定50周年記念事業実行委員会(庄原市・神石高原町・島根県奥出雲町・鳥取県日南町)が行った、フォトコンテストの入賞作品を使用。同公園の特徴ある四季折々の自然風景をPRしています。
本フレーム切手は、同公園周辺郵便局(販売期間7月16日まで)と同公園内観光拠点施設などで限定1000シート、1シート1230円(82円切



フレーム切手

手×10枚)で販売します。
本年度も、「比婆道後帝釈国定公園連携事業」として、実行委員会4市町が連携し、同公園内の拠点施設を巡るスタンプラリーなどを実施する予定です。

建設課

あの日の教訓を胸に継承を誓う
平成22年庄原豪雨災害篠堂川復旧記念碑除幕式典

皆さまで「安心と幸せ」を感じることができるよう社会環境を整備するため、この災害の教訓を風化させることなく次世代に継承し、防災、減災の取り組みを強力に推進していきたい」と決意を述べました。
記念碑は、大きな被害を受けた川北町重行8号えん堤の付近に建立され、災害の教訓を後世に継承していく誓いの言葉が刻まれています。



建立された復旧記念碑